

膠原病リウマチ痛風センター主催
第43回 公開講座
—自分の病気を知ろう—

日時 平成29年5月27日(土) 13:00~16:00 (12:30~ 受付開始)

場所 東京女子医科大学 弥生記念講堂(本院 糖尿病センター隣り)
東京都新宿区河田町8-1
*当センター本部ではありません。

内容
《 第1部 》 13:00~14:40

『関節リウマチにおける上肢の症状とその治療』

.....佐久間 悠 医師

関節リウマチの患者さんには、手指、手関節、肘などの症状に悩まれる方が非常に多いです。関節の痛みや腫れに始まり、可動域の制限、変形が生じてきます。これらの症状は関節部の骨・軟骨破壊が軽度の段階であれば、装具療法や関節注射、リハビリテーションなどに近年進歩が著しい薬物療法を組み合わせることによって、症状を改善して関節を温存できる可能性も高くなってきました。残念ながら靭帯の緩みや変形、骨破壊が進んでしまった場合でも、適切な手術療法により症状や機能、整容面を大幅に改善できる場合が多くあります。手指に腱断裂などが生じた場合は、手術による治療が必要になってきます。これら手術に際しては、その前後のリハビリテーションもまた、何にも増して非常に重要です。今回は、関節リウマチで生じる上肢の症状と、それに対する保存療法・手術療法、またその適応や具体的な注意点などについてお話する予定です。

『関節のなかを覗いてみよう!』 ~関節超音波を利用したリウマチ診療~

.....杉本 直樹 医師

リウマチの診療は、たくさんの治療薬の普及とともに、多くの患者さんがリウマチとともに毎日をより快適に過ごしていくことが可能となってきました。治療をすすめていくにあたっては、疾患の状態を正確に把握するために、まずは一つ一つの症状を適切にとらえて評価していくことが重要です。「最近どうしてこんなに手が痛いのだろうか?」「なんだか肩を挙げにくいな~」「階段を歩くのが辛くて.....。膝は大丈夫なのかな?」

そのような気になる症状について、普段の診察や血液検査、レントゲン写真では分かりにくいようなことが、関節超音波を気になる関節に当てて見てみることで解決できることがあります。関節超音波検査は、日頃の診察室で、リウマチ患者さんの関節のなかの状態を手軽に覗いてみることもできるとても便利な道具の一つです。

今回は日常のリウマチ診療での関節超音波検査の利用について、実際の患者さんでの例も交えてご紹介いたします。

《 第2部 》 **療養相談** 15:00~16:00

内科(治験・生物学的製剤・くすり他)・整形外科(手術)
リハビリ・食事指導

大変ご好評いただいている、治験・生物学的製剤・手術など経験した患者さんに協力していただき、患者さんが患者さんに相談するコーナーを設けます。

その他に、薬や病状についての質問など、内科・整形医師に直接相談出来る場も設けますので、ふるってご参加ください。